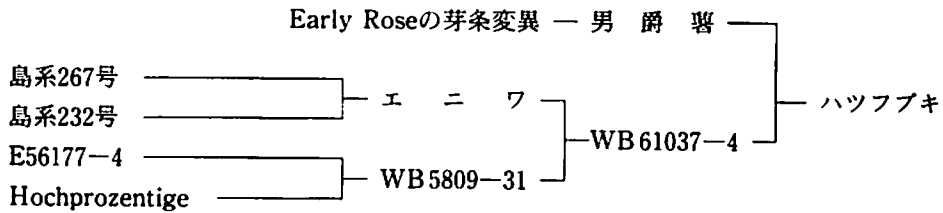


9. 馬鈴しよ

(I) ハツフブキ (旧系統名 北海57号)

登録番号：(北海道) ばれいしよ北海道第15号；(農水省) ばれいしよ農林24号

来歴 本品種は、1966年(昭41)に北海道農業試験場において、「男爵薯」を母、「WB61037-4」を父として人工交配を行い育成したもので、1974年(昭49)に「島系508号」、1975年(昭50)以降「北海57号」の系統名で各種の試験を行い、1979年(昭54)に優良(奨励)品種に決定した。なお本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要 1. 茎長は「農林1号」よりやや短く、茎数、分枝数は中位、茎の太さも中で草型はやや直立である。

2. 茎色は緑で紫色を帯び、葉色も萌芽時には緑で紫色を帯びるが、生育が進むと緑色になる。小葉はやや大きく、花は淡紫色で、大きさや花数は中、花粉量が少なく自然結果は認められない。
3. いもは扁卵形、皮色は淡黄色でネットはなく、目の深さや数は中。肉色は白で、肉質は中である。いもの大きさはやや小さく、着生の粗密やストロンの長さは中で、いも離れは良い。
4. 萌芽、初期生育は整一で、「農林1号」並かやや遅い。茎葉黄変期および枯凋期は「農林1号」より20日以上早く、「男爵薯」より数日遅い早生種に属する。
5. いもの肥大速度は「紅丸」並で「農林1号」より遅いが、でん粉価の上昇はかなり早い。また普通掘り時のでん粉価は「農林1号」より約1%高い。
6. いも収量は、8月中旬までは「農林1号」より優り、「紅丸」並に経過するが、8月下旬には「農林1号」並となり、「紅丸」より劣る。また普通掘りの収量は「農林1号」より約7%、「紅丸」より約20%劣る。
7. でん粉収量は、8月中旬の早掘りでは「農林1号」「紅丸」より多く、本品種の茎葉黄変期においても、その時期に収穫した「紅丸」のでん粉収量と同等か上まわる。
8. 疫病抵抗性遺伝子 R₁をもつ。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「農林1号」並で、Xモザイク病、Yモザイク病、葉巻病などに対する抵抗性はない。軟腐病抵抗性は中、粉状そうか病抵抗性は「農林1号」よりやや弱く、青枯病にもやや弱い。またジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。
9. いもに褐色心腐れや中心空洞は見られないが、水煮後の黒変が多く、食用には不適である。また休眠はやや長い。

栽培適地と奨励態度 全道に適し、早生のでん粉原料用品種として、中晩生品種に配合して栽培する。また栽培上の注意は「農林1号」に準ずるが、早期収穫用であるため初期生育の促進を図ることが必要である。

〈普通掘り〉

試験場名	品 種 名	茎 葉 枯 凋 期 (月.日)	茎 長 (cm)	10 a 当 り				でん粉価 (%)	平 均 1 個 重 (g)	試 験 年 次
				いも重 (kg)	左 比 (%)	でん粉重 (kg)	左 比 (%)			
北海道農試	ハツブキ	9.9	62	3,038	83	522	86	19.2	87	1971~ 1978
	農林1号	10.2	66	3,643	100	608	100	17.5	122	
中央農試	ハツブキ	9.16	64	3,607	96	538	108	14.5	104	1976~ 1978
	農林1号	9.28	66	3,743	100	498	100	13.9	99	
上川農試	ハツブキ	(9.16)	65	3,619	86	634	89	18.5	112	1975~ 1978
	農林1号	(10.3)	69	4,222	100	712	100	17.8	120	
十勝農試	ハツブキ	9.5	78	3,549	100	601	111	18.1	76	1974~ 1978
	農林1号	9.20	70	3,557	100	540	100	16.2	89	
北見農試	ハツブキ	(9.15)	81	4,567	91	755	96	17.5	101	1974~ 1978
	農林1号	(10.1)	93	4,994	100	784	100	16.7	128	
根釧農試	ハツブキ	9.23	75	3,661	102	601	108	17.5	85	1974~ 1978
	農林1号	10.5	78	3,596	100	556	100	16.5	105	

注) 上川農試の茎葉枯凋期は1977年を、また北見農試は1975年、1976年を除く平均。

〈早掘り〉

試験場名	品 種 名	10 a 当 り				でん粉価 (%)	平 均 1 個 重 (g)	試 験 年 次
		いも重 (kg)	左 比 (%)	でん粉重 (kg)	左 比 (%)			
十勝農試	ハツブキ	3,721	111	618	124	17.6	71	1978
	農林1号	3,356	100	497	100	15.8	94	
北見農試	ハツブキ	4,292	97	719	107	17.8	(126)	1977~ 1978
	農林1号	4,432	100	674	100	16.2	(127)	

注1) 収穫日は、十勝農試9月4日、北見農試1977年は8月30日、1978年は8月30日と9月7日の平均。

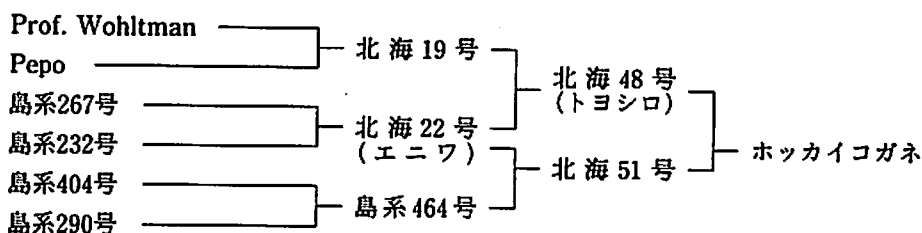
2) 北見農試の平均一個重は1977年の調査。

- 参照 1) 北海道農務部編、昭和54年普及奨励ならびに指導参考事項、16-21 (1979)。
2) 農林水産省技術会議事務局編、新しい技術、第17集、166-168、(1980)。

(2) ホッカイコガネ (旧系統名 北海60号)

登録番号：(北海道) ばれいしょ北海道第16号；(農水省) ばれいしょ農林25号
：(種苗法) 第197号

来歴 本品種は1970年(昭45)に北海道農業試験場において、「北海48号」(のちのトヨシロ)を母、「北海51号」を父として人工交配を行い育成したもので、1976年(昭51)に「島系516号」、1977年(昭52)以降「北海60号」の系統名で各種の試験を行い、1981年(昭56)に優良(奨励)品種に決定した。なお本品種の系統は次のとおりである。



特性概要 1. 茎長は「トヨシロ」より長く、茎数、分枝数、茎の太さなどは中位で、草型はやや直立である。

2. 茎色、葉色はともに緑色を呈するが、萌芽時の葉色は紫色を帯びる。小葉は「トヨシロ」よりやや大きく、花は淡紫色で先端部は白色を呈する。花数や花粉量は多く、自然結果は多い。
3. いもの形は長楕円、皮色は淡褐で僅かにネットを帯びる。目の数は中位で浅く小さい。肉色は淡黄で、肉質はやや粘質である。いもは大きく、着生の粗密やストロンの長さは中、いも離れは良い。
4. 萌芽や初期育生は「トヨシロ」よりやや遅い。茎葉黄変期および枯凋期は「農林1号」並で、「トヨシロ」より20日程度遅い晩生種である。またいもの肥大速度は「農林1号」や「トヨシロ」より劣る。
5. 疫病抵抗性遺伝子 R_1 をもち、ほ場での疫病の発生は「農林1号」より遅れる場合が多い。塊茎腐敗に対しては強～やや強、Xモザイク病、Yモザイク病、葉巻病などに対する抵抗性はなく、粉状そうか病に強いが、軟腐病にはやや弱、青枯病には弱い。またジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。
6. いも収量は「農林1号」並で「トヨシロ」より25%程度多く、61g（中いも）以上のいも収量は「トヨシロ」より約30%多い。
7. いもに褐色心腐れや中心空洞は見られず、調理後黒変も生じない。還元糖含量低く、低温貯蔵後の加温処理による還元糖含量の減少も容易で、油加工原料としての適性にすぐれ、食味も良好である。

栽培適地と奨励態度 全道に適し、食品加工原料用として栽培されている「農林1号」や「男爵薯」におきかえる。また栽培に当たっては初期生育の促進を図り、小さいもの発生抑制のためやや疎植とする。

試験場名	品 種 名	茎 葉 枯凋期 (月.日)	茎 長 (cm)	10 a 当 り				平 均 1個重 (g)	でん粉価 (%)	試験年次
				いも重 (kg)	左 比 (%)	中以上 いも重 (kg)	左 比 (%)			
北海農試	ホッカイコガネ	(9.29)	67	3.687	128	3.481	133	124	18.5	1975～ 1980
	トヨシロ	(9.3)	50	2.873	100	2.621	100	107	18.3	
中央農試	ホッカイコガネ	9.30	71	5.125	121	4.178	104	91	15.7	1977, 1979 1980
	トヨシロ	9.14	64	4.242	100	4.026	100	148	14.8	
上川農試	ホッカイコガネ	(9.24)	69	3.314	112	2.767	113	102	19.6	1977, 1979 1980
	トヨシロ	(9.28)	55	2.966	100	2.449	100	95	20.1	
十勝農試	ホッカイコガネ	9.25	84	4.244	123	3.840	125	111	17.5	1976～ 1980
	トヨシロ	9.3	68	3.462	100	3.070	100	98	17.1	

試験場名	品種名	茎葉枯凋期 (月.日)	茎長 (cm)	10 a 当 り				平均 1個重 (g)	でん粉価 (%)	試験年次
				いも重 (kg)	左 比 (%)	中以上 いも重 (kg)	左 比 (%)			
北見農試	ホッカイコガネ	(10. 2)	95	5,454	111	5,169	112	153	16.8	1976～
	トヨシロ	(9.18)	69	4,927	100	4,631	100	127	16.9	1980
根釧農試	ホッカイコガネ	(10. 4)	83	4,521	103	4,180	107	124	17.0	
	トヨシロ	(9.18)	69	4,396	100	3,906	100	106	16.4	

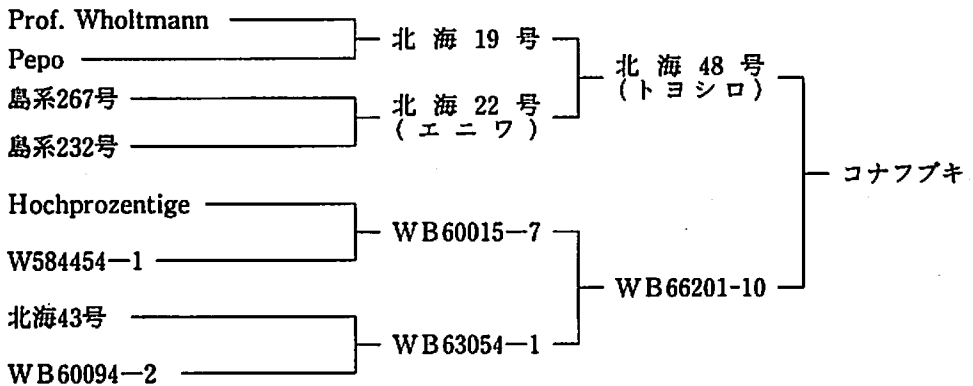
注) 茎葉枯凋期は、次の年次を除く平均を示す：北海道農試 1977年，上川農試 1980年，北見農試 1976年，1977年，1979年，1980年，根釧農試 1976年，1980年。

- 参照 1) 北海道農務部編. 昭和56年普及奨励ならびに指導参考事項. 24—28 (1981).
2) 西部幸男. 農業技術. 36, 557—559 (1981).

(3) コナフブキ (旧系統名 根育19号)

登録番号：(北海道) ばれいしょ北海道第17号；(農水省) ばれいしょ農林26号；(種苗法) 第338号

来歴 本品種は、1971年(昭46)に北海道農業試験場において、「北海48号」(のちのトヨシロ)を母、「WB66201—10」を父として人工交配を行い、その交配種子を北海道立根釧農業試験場が譲りうけ以後選抜育成したものである。1977年(昭52)から「根系54号」、1979年(昭54)以降「根育19号」の系統名で各種の試験を行い、1981年(昭56)に優良(奨励)品種に決定した。なお本品種の系譜は次のとおりである。



- 特性概要 1. 茎長は「紅丸」並。茎数，分枝数は中位で，茎の太さは「紅丸」並かやや細く，草型は中である。
2. 茎色は緑，葉は濃緑色を呈するが，萌芽時の葉色はうすい紫色を帯びる。小葉は小さく，花は淡い赤紫色で，先端部は白色を呈する。花数多く，花粉量もやや多めで，自然結果は多い。
3. いもの形は偏球，皮色は淡黄褐色で，目に淡い紅色の着色がある。目の数は多く，やや浅い。肉色は白で肉質は固い。いもはやや小さく，着生の粗密は中で，いもの揃いはやや良い。
4. 萌芽は「紅丸」よりやや遅いが，初期生育は整一である。茎葉黄変期は「紅丸」並であるが，茎葉枯凋期は「紅丸」より数日遅れることが多い晩生種である。
5. 疫病抵抗性遺伝子 R_1R_2 をもち，疫病菌による塊茎腐敗に対しては強。葉巻病抵抗性はなく，

Yモザイク病には極めて強い。粉状そうか病には強く、軟腐病にもやや強いが、青枯病には弱い。またジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性はない。

6. いも収量は「紅丸」より劣るが、でん粉価が「紅丸」より約5%高く、でん粉収量は「紅丸」より10~20%多い。

7. でん粉粒子は「紅丸」に比べ大粒のものがやや少ないが、糊化時の最高粘度は高い。いもの肉質は固く、水煮すると煮くずれが多いため食用には適さない。

栽培適地と奨励態度 全道に適し、でん粉原料用として「紅丸」「農林1号」に配合して栽培する。また栽培上の注意は「紅丸」や「農林1号」に準ずる。

試験場名	品 種 名	茎 葉 枯 凋 期 (月・日)	茎 長 (cm)	10 a 当 り				でん粉価 (%)	平 均 1 個 重 (g)	試験年次
				いも重 (kg)	左 比 (%)	でん粉重 (kg)	左 比 (%)			
根 釧 農 試	コナフブキ 紅 丸	10. 7	80	4,457	100	928	135	22.5	108	1976~ 1980
		9.30	81	4,438	100	688	100	16.4	112	
北 海 道 農 試	コナフブキ 紅 丸	9.30	73	3,478	83	805	107	24.1	114	1978~ 1980
		10. 1	66	4,199	100	755	100	19.0	109	
上 川 農 試	コナフブキ 紅 丸	9.21	64	3,054	93	751	123	25.6	93	1979~ 1980
		9.18	52	3,285	100	611	100	19.7	101	
十 勝 農 試	コナフブキ 農 林 1 号	9.29	83	3,551	85	752	111	22.2	80	1977~ 1980
		9.21	71	4,188	100	675	100	17.1	105	
北 見 農 試	コナフブキ 紅 丸	10. 4	89	4,902	88	1,013	116	21.7	116	1977~ 1980
		10. 5	92	5,559	100	874	10	16.7	124	

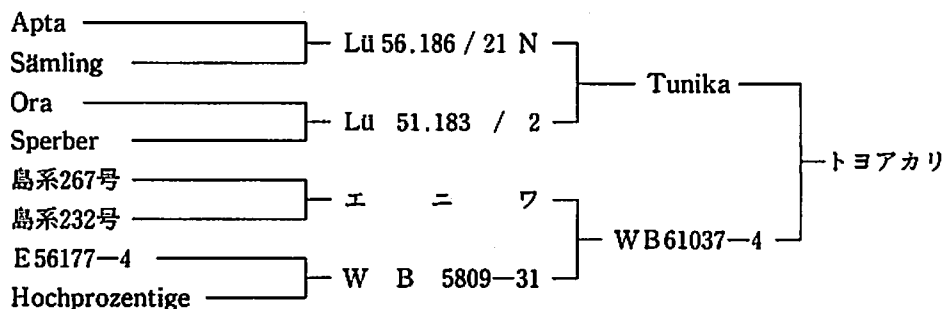
参照 1) 北海道農務部編。昭和56年普及奨励ならびに指導参考事項。29-34 (1981)。

2) 浅間和夫等。北海道立農試集報。48, 75-84 (1982)。

(4) トヨアカリ (旧系統名 北海67号)

登録番号：(北海道) ばれいしょ北海道第18号：(農水省) ばれいしょ農林27号

来歴 本品種は、1974年(昭49)に北海道農業試験場において、「Tunika」を母、「WB61037-4」を父として人工交配を行い育成したもので、1982年(昭57)に「島系534号」、1983年(昭58)以降「北海67号」の系統名で各種の試験を行い、1986年に優良(奨励)品種に決定した。なお本品種の系譜は次のとおりである。



- 特性概要 1. 莖長は「紅丸」「農林1号」より5cm程度長い。莖数、分枝数ともに「紅丸」並の中で、莖の太さも中、莖翼はやや波状で、草型はやや直立型である。
2. 莖の色は緑を基調に赤紫色の斑点がある。葉色は、萌芽時には赤紫色を帯び、生育が進むと緑色となるが、「農林1号」に比べるとやや淡い。小葉の大きさは中、花は赤紫色で「紅丸」より大きく、花数、花粉量ともに多く、自然結果も多い。
3. いもは扁球形、皮色は黄褐色で、目に赤紫色の着色がある。表皮はやや粗で、目の数や深さは中。肉色は淡黄色、肉質はやや粘質である。またいもの大きさは「農林1号」より小さく、「紅丸」より大きい。いもの着生はやや疎、ふく枝の長さは中で、いも離れは良い。
4. 萌芽、初期生育ともに「農林1号」並で、莖葉黄変期および枯凋期は「農林1号」や「紅丸」並の晩生種に属する。
5. いもの肥大開始期はやや遅いが、後期の肥大が旺盛で、平均一個重は「農林1号」より小さいが、「紅丸」より大きい。またでん粉価は、いもの肥大初期から高く推移し、最終的には20~22%となり、「紅丸」より5%前後高い。
6. 上いも収量は、「紅丸」の80%、「農林1号」の90%程度であるが、でん粉価が高いため、でん粉収量では「紅丸」「農林1号」より約10%多い。
7. ジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性を有し、疫病に対する抵抗性も強である。塊莖腐敗抵抗性は「紅丸」並の中、粉状そうか病には強いが、塊莖の軟腐病抵抗性はやや弱、青枯病抵抗性は弱である。またウィルス病には、従来の品種と同様に抵抗性はない。
8. いもに中心空洞はみられないが、褐色心腐れは「農林1号」程度に発生する。また休眠は「紅丸」とほぼ同じでやや短い。
9. でん粉粒子の大きさは、「農林1号」より大きい「紅丸」より小さい。でん粉の白度は「紅丸」並に優れ、最高粘度は「紅丸」より高く、品質は優れている。

栽培適地と奨励態度 北海道のでん粉原料用馬鈴しょ栽培地帯の全域に適し、とくにジャガイモシストセンチュウ発生地帯に普及を優先する。また栽培上の注意は「ツニカ」に準ずるが、塊莖形成が遅く初期肥大が劣るので、浴光催芽、早植により生育の促進をはかる。

試験場名	品種名	莖葉枯凋期 (月.日)	莖長 (cm)	10 a 当 り				でん粉価 (%)	上いも平均 1個重 (g)	試時年次
				上いも重 (kg)	左比 (%)	でん粉重 (kg)	左比 (%)			
北海道農試	トヨアカリ	9.27	69	3.162	79	655	103	21.5	112	1980~ 1985
	紅丸	9.29	64	3.991	100	634	100	16.8	106	
中央農試	トヨアカリ	9.21	77	4.429	77	789	109	19.1	110	1983~ 1958
	紅丸	9.26	73	5.752	100	725	100	13.6	106	
上川農試	トヨアカリ	10.9	70	3.543	77	776	114	22.9	109	1983~ 1958
	紅丸	10.8	59	4.591	100	680	100	16.1	94	
十勝農試	トヨアカリ	10.9	88	4.399	84	858	113	20.5	103	1982~ 1985
	紅丸	10.6	85	5.080	100	744	100	15.6	97	
北見農試	トヨアカリ		95	4.269	87	838	122	20.6	132	1982~ 1985
	紅丸		101	4.909	100	685	100	14.9	111	
根釧農試	トヨアカリ	10.12	86	3.778	76	765	101	21.3	121	1982~ 1985
	紅丸	10.9	90	4.966	100	760	100	16.4	136	

参照 1) 北海道農務部編. 昭和61年普及奨励ならびに指導書参考事項. 10-15 (1986).